

南魚沼市監査委員告示第2号

監査結果の公表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき監査を実施したので、同条第9項の規定により監査の結果に関する報告を別紙のとおり公表する。

令和5年2月22日

南魚沼市監査委員 片桐 真司

南魚沼市監査委員 関 常 幸

南魚監第95号  
令和5年2月22日

南魚沼市長 林 茂男 様  
南魚沼市議会議長 塩谷 寿雄 様  
南魚沼市教育長 岡村 秀康 様  
南魚沼市農業委員会会長 並木 孝夫 様

南魚沼市監査委員 片桐 真司

南魚沼市監査委員 関 常幸

定期監査及び行政監査の結果に関する報告について（提出）

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を下記のとおり報告します。

記

1 基準に準拠している旨

監査委員は、南魚沼市監査基準（令和2年2月12日監査委員告示第1号）に準拠して監査を行った。

2 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づく定期監査及び行政監査

3 監査の対象

令和4年度の財務に関する事務、その他の事務及び事業の執行状況（一部過年度分を含む。）

4 監査の着眼点

財務に関する事務の執行が適法適正かつ効率的に行われているか、事務事業の執行が合理的かつ効率的に行われているかを主眼とした。

5 監査の主な実施手続

あらかじめ提出を求めた監査資料に基づき関係書類を審査し、必要により所属長及び関係職員から事業執行状況等の説明を受け、質疑応答や、関係帳簿及び書類の抽出による調査等の方法で実施した。

## 6 監査の実施場所及び日程

### (1) 実施場所

監査委員事務局及び市役所小会議室、大会議室、畔地浄水場、南魚沼市民病院

### (2) 実施日程及び監査対象課等

令和4年10月31日から令和5年1月13日まで

実施日程	監査対象課等
令和4年10月31日	企画政策課
11月7日	財政課 建設課
11月8日	総務課 税務課
11月10日	市民課 学校教育課
11月16日	ゆきぐに大和病院、南魚沼市民病院 保健課
11月28日	水道課 下水道課
令和5年 1月6日	U&Iときめき課 福祉課
1月10日	子育て支援課 介護保険課
1月11日	廃棄物対策課、新ごみ処理施設整備室 農林課
1月13日	商工観光課

書類監査 情報管理室、環境交通課、都市計画課、消防本部、社会教育課

※各課等共通事項「準公金の管理状況」については、下記の課等も対象とする。

議会事務局、秘書広報課、会計課、大和市民センター、塩沢市民センター、こども家庭サポートセンター、農業委員会事務局、子ども・若者相談支援センター、図書センター、生涯スポーツ課、城内診療所

## 7 監査の結果

監査の対象となった事務はおおむね適正に執行されていた。軽微な事項については、口頭で改善又は検討を要望した。

なお、各課等個別事項は別紙のとおりである。

### (注)

- 1 別紙表中の金額については、単位未満四捨五入とした。
- 2 比率等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって端数処理の関係で、総数及び比率の合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 企業会計の損益(表)については、いずれも税抜きとした。

## <各課等共通事項>

### ○準公金の管理状況

各課等が作成した調査票に基づき、書類及び口頭で監査を行った。

管理状況はおおむね適正であったが、一部で施錠や決裁、出納帳などがないものがあり、その都度確認し、状況により課長等に対して不正や事故等防止の観点から改善を提示した。

管理状況は、次のとおりである。

#### 1 団体について

##### (1) 団体数

監査実施時点において、市職員が準公金の出納、管理の事務に携わっている団体は、52件であった。

課室局名	団体数	課室局名	団体数
議会事務局	1件	建設課	2件
企画政策課	2件	都市計画課	1件
福祉課	8件	消防本部	4件
農業委員会事務局	2件	学校教育課	1件
農林課	7件	社会教育課	9件
商工観光課	9件	生涯スポーツ課	6件
		合計	52件

##### (2) 設置目的別団体数

調査票に基づき、分類したところ、地域・団体との連携事業が26団体、自治体間の連携事業が8団体、イベント事業が7団体、それ以外の事業が11団体となっている。

##### (3) 会計事務を扱う根拠

ほとんどの団体で、会計事務を扱う根拠が規定されているが、慣例で担当が会計事務に携わるなど根拠が明確でない団体が7団体あった。

#### 2 管理状況

##### (1) 通帳等の保管場所

ほとんどの団体で、鍵の管理や施錠等、保管状況は適正であったが、施錠のない書庫等での保管が3団体あった。現金については、募金や団体廃止後寄附までの保管など3団体あり、施錠のある金庫等で保管されていた。

##### (2) 入出金の決裁

決裁のない団体は17団体あったが、活動がない場合や決算書、監査で決裁を行うなどの処理がほとんどであった。

##### (3) 出納帳の整備

ほとんどの団体で整備されていたが、通帳で管理し出納帳のない団体が7団体あった。

#### 3 所感

準公金は財務規則の適用対象外となっており、事業を所管する担当課等の裁量に委ねられる部分が多く、利便性を優先した運用がとられている場合もあるが、公金同様に内部統制を機能させ、不正や事故等が発生しない仕組みづくりに努めていただきたい。

## <各課等個別事項>

### ○企画政策課

#### 1 主な事務分掌

総合計画実施計画、公共施設マネジメント、行財政改革・行政評価、職員定員管理、総合戦略・人口ビジョン、DX推進計画、魚沼地域定住自立圏共生ビジョン、男女共同参画、各種統計調査

#### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況
- (6) 第2次総合計画の検証状況
- (7) DX推進計画策定の進捗状況
- (8) 魚沼地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況

#### 3 所感

部署の枠組みを超えた役割分担や協働作業を必要とする業務が多くなっていて、社会情勢の変化に柔軟に対応できる横断的な体制が求められている。課の業務が効率的に遂行できる体制づくりを目指し、引き続き庁内の旗振り役を担っていただきたい。

公共施設マネジメントの取組として、旧第二上田小学校体育館の室内練習場への改修工事が完了し、11月から上田雪国スポーツセンターとして開館した。今後も統合で廃校となった施設等や空き施設の利活用の検討に努めていただきたい。

男女共同参画の推進として、今年度から南魚沼市ハッピー・パートナー企業支援事業を開始した。市内企業の登録を推進し、男女ともに働きやすく子育てしやすい職場環境づくりの一助となるよう、支援制度の充実を図っていくことを望むものである。

### ○財政課

#### 1 主な事務分掌

予算、財産運営、庁舎・施設及び庁用車管理、普通財産管理、用地物件交渉、入札及び契約、工事検査

#### 2 監査の対象項目

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 財政健全化の取組み
- (7) 入札結果及び工事検査の実施状況
- (8) 公用車による事故の状況

### 3 所感

今後の施設建設事業を踏まえ、第3次財政計画に基づいた計画的な財政運営と将来推移を行いながら財政規律の厳格化に努めている。併せて、新地方公会計制度に基づいて作成された財政諸表の活用を進め、分析に努めていただきたい。

管財班では保有施設の的確な修繕や更新・除却、契約検査では新たな手法による事務の効率化や検査員等の技術向上に引き続き取り組んでいただきたい。

今後も課全体で方針に取り組むことで、限られた人員で効率的、効果的な業務体制となることを望むものである。

## ○建設課

### 1 主な事務分掌

道路河川等維持修繕、災害復旧、道路除雪、水路管理、道路新設改良、橋梁点検・修繕設計、道路占用許可、部外設計

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況
- (6) 市道改良事業の実施状況
- (7) 災害時の対応マニュアル及び対応状況
- (8) 除雪車の管理状況及び除雪路線の見直し状況

### 3 所感

昨年度の除雪業務委託料が過去最高額となり、市財政を圧迫する除雪費の縮減を最重要課題としている。除雪路線の見直し等、地元と調整を図りつつ必要な検討を行っていただきたい。

技術系職員の慢性的な不足が課題となっている中、市内の建設業界においても建設技術者不足が深刻化していることから、南魚沼市建設業人材確保支援事業補助金交付要綱を定め、建設業者の資格取得時の費用補助を行っている。市内建設業全体の品質の維持・向上を図るため、建設技術者の育成に有効な取組を継続していただきたい。

老朽化が進んだ道路・河川等の点検、維持補修、さらに除雪や災害時の緊急対応、地元要望への対応など課題は多く、緊急性や必要性、費用対効果などにより優先順位を決め対応している。有利な事業債も最大限に活用しつつ、市民が安心安全に暮らせるよう事業実施が図られることを望むものである。

## ○総務課

### 1 主な事務分掌

人事関係、防災、空家対策、行政区、例規、選挙事務、議会対応

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 防災訓練の実施状況（行政区、消防団の訓練含む）
- (7) 新型コロナウイルス感染症に関連する特別休暇の取得状況
- (8) 産業カウンセラーの利用状況
- (9) 時間外勤務状況及び産業医との面談状況

### 3 所感

職員の働き方改革として、労働時間の抑制やメンタルヘルス対策等に取り組んでいる。引き続き、職員が心身ともに健康で働きやすい環境づくりに努めていただきたい。

障がい者雇用の取組として、障がい者就労支援施設と連携し、施設職員の事前視察、適性の見極め、本人の職場体験を行った上で、採用を実施している。今後も関係機関との連携を深め、障がい者雇用の拡大を図っていただきたい。

令和4年度から、行政区長会を市内全域1会場、年1回の開催とした。地域の中心となりつつある地域づくり協議会と行政区長への丁寧かつ確実な情報伝達を行うことで、地域と行政のより良い関係性が構築されることを望むものである。

## ○税務課

### 1 主な事務分掌

市税、収納管理、滞納整理、原付自転車及び軽自動車の標識交付

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 市税等の調定・収納状況
- (7) 市税の未納・滞納処分状況
- (8) 市税の執行停止状況（書類監査含む）

3 収納状況（9月末現在）

（単位：千円）

会計	区分	令和4年度			令和3年度		
		調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率
一般会計	現年分	6,856,220	4,280,872	62.4	6,550,012	4,116,692	62.9
	滞納繰越分	842,613	38,003	4.5	967,962	72,711	7.5
	合計	7,698,833	4,318,875	56.1	7,517,974	4,189,403	55.7
国保会計	現年分	1,021,630	420,594	41.2	1,087,911	436,806	40.2
	滞納繰越分	110,978	23,913	21.5	134,798	18,129	13.4
	合計	1,132,608	444,507	39.2	1,222,709	454,935	37.2

4 所感

収納率は、前年同期に比べ一般会計で0.4ポイントの増、国保会計で2.0ポイントの増となった。滞納処分についての知識や経験の習得により、適切に財産調査を行い執行停止がなされており、収納率の上昇にもつながっている。

市内のホテル・旅館業・観光業・飲食業は一時の業績不振からは回復傾向にあるが、コロナ禍前と比べると収入の減少が続いている。併せて、国の財政支援措置等が終了したことにより収益が伸びず、法人市民税の所得割額が減少し、税収にも影響を及ぼしている。

市税は本市の根幹となる歳入である。公平・公正な課税を行うとともに、適正な債権管理と早期回収に努め税収確保を図ることを望むものである。また、引き続き課内の協力体制の強化やDXの推進など業務の効率化を進めていきたい。

○市民課

1 主な事務分掌

戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、マイナンバー、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、人権啓発

2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度（前回）課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 国民健康保険事業の状況
- (7) マイナンバーカード発行及び活用の状況
- (8) 後期高齢者医療保険料の滞納、不納欠損状況（書類監査含む）

3 所感

市役所の玄関口として、来庁者のニーズを的確に判断し総合窓口業務を効果的・効率的に遂行することに重きを置き、市民対応を行っている。マイナンバーカードの申請手続き等の利便性を図るため、月2回の水曜日の延長窓口や日曜日の休日窓口を行い、普及促進に努めている。



国民健康保険事業は、被保険者数の減少、一人当たり医療費の増加、所得減による保険税7割軽減の増加などにより、引き続き厳しい財政状況である。今後は、団塊世代が後期高齢者医療保険に移行することから、適切な保健指導やレセプト点検の充実、ジェネリック医薬品の推奨、他課と連携した各種保健事業の遂行により、市民の健康を守り医療費を抑えるための取組を継続的に行っていただきたい。

市役所の顔として総合窓口の円滑な運営を図り、市民の視点に立ち迅速で的確なサービスを提供すべく、引き続き尽力されることを望むものである。

## ○学校教育課

### 1 主な事務分掌

学校運営、学校施設管理、学校保健、学習指導、学校給食及び施設管理、奨学金、学童クラブ、学区再編等検討委員会

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況
- (6) 学校施設（GIGAスクール含む）の整備状況
- (7) いじめ・不登校の取組状況
- (8) 学校給食統合についての検討状況
- (9) 奨学金の貸与・返済等の管理状況

### 3 所感

中学校の休日の部活動については、段階的な地域移行に向けて指導者となる競技団体、学校、保護者等との協議を進めている。生徒の活動機会を確保し、充実した活動体制に向けた取組を引き続き望むものである。

現状を踏まえた新たな学校規模を再検討し、それに基づいた学区の再編案を策定すべく、学区再編等検討委員会において協議している。地域・学校・保護者等の意見を聞き、児童・生徒の望ましい学習・学校環境となるよう尽力いただきたい。

新たな統合学校給食センターの建設では、学校給食衛生管理基準に従った施設整備に向けて基本計画の策定を行っている。民間事業者の創意工夫やノウハウの活用によりコストの縮減を図り、児童生徒に安全・安心でおいしい給食を提供する統合学校給食センターの建設を望むものである。

○ゆきぐに大和病院及び南魚沼市民病院

1 主な事務分掌

病院事業の経営管理、病院施設等の維持管理

2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 医療のまちづくりの進捗状況
- (7) 不納欠損状況（書類監査含む）

3 上半期業務執行状況

(1) ゆきぐに大和病院

ア 患者数（9月末現在） (単位：人)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
外来患者数	23,029	20,341	2,688
入院患者数	7,385	7,550	△165
計	30,414	27,891	2,523

イ 損益（9月末現在） (単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
1 医業収益	583,899	594,019	△10,120
2 介護保険収益	8,917	10,806	△1,889
3 医業費用	609,421	598,835	10,586
医業損益	△16,605	5,990	△22,595
4 医業外収益	113,911	110,993	2,918
5 医業外費用	1,182	1,585	△403
経常損益	96,124	115,398	△19,274
6 特別利益	0	0	0
7 特別損失	0	0	0
当年度純損益	96,124	115,398	△19,274

(2) 南魚沼市民病院

ア 患者数（9月末現在） (単位：人)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
外来患者数	64,958	66,442	△1,484
入院患者数	20,328	19,714	614
計	85,286	86,156	△870

## イ 損益（9月末現在）

（単位：千円）

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
1 医業収益	1,722,311	1,619,720	102,591
2 介護保険収益	28,712	27,057	1,655
3 医業費用	1,937,024	1,852,626	84,398
医業損益	△186,001	△205,849	19,848
4 医業外収益	221,256	151,296	69,960
5 医業外費用	6,930	7,534	△604
経常損益	28,325	△62,087	90,412
6 特別利益	2,466	0	2,466
7 特別損失	0	138	△138
当年度純損益	30,791	△62,225	93,016

## 4 所感

大和病院は、院内クラスターの影響で入院患者数が減少したが、外来では常勤歯科医師の増員等により患者数は増加となった。収支については、病院事業収益が前年同期比9,091千円の減となり、上半期純利益96,124千円を計上している。

市民病院は、地域包括ケア病棟への転換や心臓カテーテル検査・治療の開始により入院患者数が増加したが、外来では小児科やリハビリテーション科などの診療日数の減により患者数は減少となった。収支については、医業収益が大幅に改善し、病院事業収益が前年同期比176,672千円の増となり、上半期純利益30,791千円を計上している。

今後も令和4年6月に策定された「医療のまちづくりに関する骨太の全体計画」にある病院理念「地域住民の『生きる』を支え続ける」に向けて、常勤医師及び医療スタッフの確保を最重要課題と捉え、中長期的な見通しをもって経営改善を図りながら安定した病院運営に努められたい。

## ○保健課

## 1 主な事務分掌

新型コロナワクチン接種、母子保健、成人保健、支援保健、地域保健、住民健診、自殺対策予防事業、健康相談

## 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 自宅療養者生活支援事業の状況
- (7) 看護師就学資金貸与の管理状況
- (8) 自殺予防対策の取組状況
- (9) 不妊治療費、不育症治療費助成の状況

### 3 所感

コロナ禍の影響で住民健診の受診率が低下しているため、生命保険会社と連携した市民への勧奨、ナッジ理論を使った勧奨ハガキの送付等により、受診率の向上を目指している。

新型コロナワクチン接種対策室では、国が示す接種計画に沿った体制の確保に苦慮している。日々変化する感染状況を踏まえた対応が可能となる体制の構築を望むものである。

自殺予防の取組として、SNSを利用したライン相談を行うNPO法人と連携し、相談窓口の拡充を図った。一人でも多くの支援に繋がることを切に願うものである。

市民の健康と命を守り、市民の心と体の拠り所となるよう、引き続き尽力いただきたい。

## ○水道課

### 1 主な事務分掌

水道事業の経営及び計画、水道料金改定、水道施設の建設・維持管理及び災害復旧

### 2 監査の対象事項

- (1) 上半期決算状況
- (2) 職員体制
- (3) 当年度の課題
- (4) 前年度課題の取組結果と状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 水道料金改定検討の進捗状況
- (7) 不納欠損状況（書類監査含む）

### 3 上期業務執行状況

- (1) 有収水量（9月末現在） （単位：m<sup>3</sup>）

区分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	使用量	うち超過量	使用量	うち超過量	使用量	うち超過量
家庭用	2,327,772	1,375,224	2,409,572	1,443,169	△81,800	△67,945
営業用	307,412	260,455	310,575	268,530	△3,163	△8,075
工場用	39,248	34,417	40,612	35,842	△1,364	△1,425
官公署	92,832	91,764	117,028	111,260	△24,196	△19,496
その他	166,146	152,835	157,780	146,047	8,366	6,788
合計	2,933,410	1,914,695	3,035,567	2,004,848	△102,157	△90,153

- (2) 損益（9月末現在） （単位：千円）

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減
1 営業収益	737,203	748,549	△11,346
2 営業費用	713,781	707,747	6,034
営業損益	23,422	40,802	△17,380
3 営業外収益	144,074	146,603	△2,529
4 営業外費用	52,323	62,709	△10,386
経常損益	115,173	124,696	△9,523

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
5 特別利益	0	0	0
6 特別損失	167	185	△18
当年度純損益	115,006	124,511	△9,505

#### 4 所感

水道料金体系の見直し及び料金の改定については、南魚沼市上下水道審議委員会から答申を受け、南魚沼市水道給水条例の改正に向けた手続きを進めている。市民や水道使用者に対して、丁寧な説明と十分な周知に努めていただきたい。

令和4年上期までは、畔地浄水場の浄水処理を二系列運転から一系列運転の切り替えによって使用電力量の削減が図られたが、原油価格高騰に伴う電力料金の上昇による影響を受けている。市民や水道使用者へ安全な水を継続して供給するため、更に安定した経営に向けた努力・強化を図っていただきたい。

### ○下水道課

#### 1 主な事務分掌

下水道事業の経営及び計画、下水道施設の建設・維持管理及び災害復旧

#### 2 監査の対象事項

- (1) 上半期決算状況
- (2) 職員体制
- (3) 当年度の課題
- (4) 前年度課題の取組結果と状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 新潟県流域下水道への接続の状況
- (7) 分担金、負担金等の不納欠損状況（書類監査含む）

#### 3 上期業務執行状況

##### (1) 業務量（9月末現在）

	令和4年度	令和3年度	比較増減
行政人口 A(人)	54,085	54,589	△504
処理区域人口 B(人)	53,566	54,095	△529
普及率 B/A(%)	99.0	99.1	△0.1
水洗化人口 C(人)	49,849	49,952	△103
水洗化率 C/B(%)	93.1	92.3	0.8
処理水量 (m <sup>3</sup> )	2,914,042	3,059,977	△145,935
有収水量 (m <sup>3</sup> )	2,719,999	2,840,191	△120,192
有収率 (%)	93.3	92.8	0.5

(2) 損益（9月末現在）

（単位：千円）

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
1 営業収益	522,339	540,354	△18,015
2 営業費用	1,297,286	1,314,361	△17,075
営業損益	△774,947	△774,007	△940
3 営業外収益	1,401,751	1,601,282	△199,531
4 営業外費用	218,935	253,764	△34,829
経常損益	407,869	573,511	△165,642
5 特別利益	0	0	0
6 特別損失	137	160	△23
当年度純損益	407,732	573,351	△165,619

4 所感

1 級河川うるし沢川周辺の氾濫は、河川の抜本的改修がなければ市で行う内水氾濫対策も効果を発揮しないため、難しい事業ではあるが引き続き建設課と連携しながら県と協議を行い河川改修計画の策定に向け尽力いただきたい。

大和クリーンセンターの統合については、経済性はもとより将来的な維持管理なども含めた協議を望むものである。

下水道事業の高度化により専門知識のある技師が必要な現状を踏まえて、継続的な募集から採用につながるよう検討を続けていただきたい。

○U&Iときめき課

1 主な事務分掌

地域活性化事業、地域コミュニティ活性化事業、移住定住促進、U I ターン事業、ふるさと納税、雪資源活用事業

2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) ふるさと納税推進事業の状況（企業版含む）
- (7) 雪資源活用事業の状況
- (8) 移住・定住の活動状況
- (9) 上田地区買い物支援サービスの実施状況

3 所感

ふるさと納税では、令和3年度の実績額が新潟県で第一位となった。令和4年度においても対前年度比約110～115%で推移しており、非常に多くの寄附者様よりご支援いただいている。今後も、南魚沼ブランドの品質向上と維持に努めつつ、進取果敢な事業展開を望むものである。

移住定住事業として、ふるさとワーキングホリデー事業を行った。今後も本市の交流人口の拡大を図り、将来的な移住・定住の掘り起こしに繋げていただきたい。

上田地区の移動販売実証実験を通じ、利用者の声を丁寧に聞いてニーズを把握し、コロナ禍において家に籠もりがちな高齢者の交流の場としても機能するよう、検証を重ね、有意義な実証実験となるよう尽力されたい。

## ○福祉課

### 1 主な事務分掌

高齢者・障がい者対策、障がい者自立支援、生活困窮者自立支援、民生委員児童委員、生活保護、高齢者及び要配慮世帯住宅除雪援助、虐待対応、公営住宅管理・整備、給付金

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況
- (6) 民生委員児童委員の活動状況
- (7) 生活保護費の支給及び返還の状況
- (8) 障がい者自立支援事業の実施状況
- (9) 公営住宅家賃の算定及び収納状況（書類監査含む）

### 3 所感

高齢者及び要配慮世帯住宅除雪援助事業の契約方法の変更、利用者負担金の廃止、除雪業者の提出書類等の見直しにより、利用者や業者の負担が軽減した。今後も、事業の利便性が図られるよう努めていただきたい。

民生委員児童委員の一斉改選が行われ、関係者の協力を得ながら欠員を出さずに、12月から新体制で活動を行っている。引き続き、課内や関係機関との連携により民生委員児童委員の活動を支え、困っている方への各種制度や支援機関の周知を進めていただきたい。

## ○子育て支援課

### 1 主な事務分掌

保育園、子育て支援、児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当、医療費助成

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 子育て支援センターの状況
- (7) 児童扶養手当支給事業の状況
- (8) 保育料等の収納状況
- (9) 市内保育園等の通園バス、登園管理の状況

### 3 所感

今年度は、新型コロナウイルスの継続的な流行による休園などの保育園管理や特別給付金の支給、給食費等の減免など業務量が増加している。

子育て支援センターのほのぼの広場は近隣市に比べ小規模だが、3会場それぞれの雰囲気や良さがあり、親子で安心して過ごせる場となっている。また、遊びの教室では就学前の療育の充実に向けて検討をしている。現状に合わせ、親子に寄り添う支援を続けていきたい。

今後も、地域の宝である子どもの安全や権利が守られるような子育て環境の整備を望むものである。

## ○介護保険課

### 1 主な事務分掌

介護保険事業、地域包括支援センターの運営、地域包括ケア連絡協議会の運営、介護認定審査会の運営

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 介護予防事業の実施状況
- (7) 介護人材確保緊急5か年事業の成果及び課題
- (8) 介護認定審査会の申請及び審査状況
- (9) 不納欠損の処分状況（書類監査含む）

### 3 所感

昨今、人生100年時代と言われている中で2025年には団塊世代が75歳に達し、高齢化率の上昇による介護サービスの需要増大が見込まれ、地域包括支援センターを含む介護保険課の果たす役割は非常に重要である。それを支える介護人材の不足は深刻化しており、当市では介護人材確保緊急5か年事業により、手厚い支援を行っているところである。

総合事業の推進により、潜在的介護ニーズがある人への介護サービスの早期導入と、一般介護予防事業の充実・強化を図っていくとともに、地域の特性に応じたきめ細かな地域包括システムの構築に努められたい。各種事業、計画を着実に進めることで、健康寿命の延伸を図り、市民が住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を営めるよう、引き続き尽力いただきたい。

## ○廃棄物対策課

### 1 主な事務分掌

一般廃棄物処理計画、一般廃棄物収集運搬、ごみ減量化、再資源化対策、指定ごみ袋管理、不法投棄、野焼き対応、ごみ処理施設の維持運営管理（可燃、不燃、し尿等）、最終処分場の維持管理、処理施設運転業務委託・指導管理、関係行政区との調整、金城の里管理



## 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度（前回）課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 可燃ごみ処理施設整備・修繕の状況
- (7) 廃棄物処理施設維持管理に関する協定書の取組状況
- (8) 各種手数料等の収納状況
- (9) 廃棄物減量化・資源化の取組状況

## 3 所感

可燃ごみ処理施設の延命化対策として、施設整備計画に基づく対策工事を実施している。可燃ごみ処理施設の安定した稼働には、点検・整備・修繕等が重要であるので、引き続き施設維持管理を的確に実施することを望むものである。

枳形山最終処分場埋立てに関する基本協定書では、埋立て期間が令和5年8月末までとなっている。関係五集落への丁寧な説明や対応によって信頼関係を築きながら慎重に協議を進めていただきたい。

閉鎖した新堀新田最終処分場を災害廃棄物集積場として造成工事を実施した。災害時の災害ごみの排出方法等について市民への周知を図りながら、有効利用を望むものである。

## ○新ごみ処理施設整備室

### 1 主な事務分掌

新ごみ処理施設整備、事業計画策定、関係機関調整

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度の課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 循環型社会形成推進地域計画の策定状況
- (7) 新ごみ処理施設建設基本計画の策定状況
- (8) 先進地視察や地域住民等への周知の状況

### 3 所感

新ごみ処理施設の建設地について、現処理施設の隣接地に建て替えをすることで地元三集落より同意を得られ、新ごみ処理施設三集落協議会を設置した。市民と課題を共有し、協働で検討していく有意義な協議会としていただきたい。

また、専門的な知見や住民目線による広い観点から意見をいただくため、新ごみ処理施設検討委員会を設置したところである。各分野からの意見を十分に検討、精査し、実効性のある計画策定・基本設計に繋げていただきたい。今後策定される各種計画、基本設計等に沿って着実な事業推進が図られることを望むものである。

## ○農林課

### 1 主な事務分掌

農業・水産業・林業の振興、有害鳥獣対策、国土調査、家畜指導・診療

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況
- (6) 担い手（認定農業者・新規就農者）の状況
- (7) ふるさと里山整備事業の状況
- (8) 国土調査事業の進捗状況

### 3 所感

畜産振興において必要な家畜診療所の獣医師確保に向け、県全体の課題として、引き続き要望や検討等に尽力いただきたい。

森林環境譲与税を活用した様々な森林整備促進事業を実施している。今年度から始まったふるさと里山再生整備事業により森林整備が進むことで、地域住民への意識啓発や鳥獣被害の拡大防止、担い手となる人材の育成につながることを望むものである。

多面的機能支払事業の会計事務については、引き続き担当課での検査や指導に努めていただきたい。

## ○商工観光課

### 1 主な事務分掌

観光交流、山岳救助、商工振興、企業誘致、雇用対策、イノベーション事業

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況
- (6) イノベーション推進事業の取組状況
- (7) 夏季合宿誘致支援・プレミアム付き旅行券事業の実施状況
- (8) 観光PR等における市観光協会との連携状況
- (9) 道の駅南魚沼の状況

### 3 所感

長引くコロナ禍の影響により市内産業が厳しい経済状況にある中、関係機関と連携し各種の経済支援策を継続的に行っている。今後も効果的な支援策を打ち出し、経済の活性化に努められたい。

イノベーション推進事業として、松井基金による事業創発拠点「MUSUBI-BA」をオープンし、起業を目指す幅広い層を対象としてセミナーや講座を行うなど、起業・創業支援に力を注いでいる。事業実施体制のさらなる充実を図り、この地域が将来に渡り持続

できるような人材や産業の育成に尽力いただきたい。

世界的なコロナ禍の影響によりインバウンド観光は低迷しているが、アフターコロナ・ポストコロナのインバウンド誘客に向け、SNSを通じて積極的に情報発信を行っている。まずは国内誘客の強化に取り組み、関係機関と連携して当市の基幹産業である観光産業の活性化を図っていただきたい。

## ○情報管理室

### 1 主な事務分掌

電算管理、行政情報化、DX推進計画

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度（前回）課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) システムの導入（更新）状況及び今後の計画
- (7) 電算システムの契約状況

### 3 所感

セキュリティ強靱化対応のシステム更新では、操作性を見直し、検証した中で価格面も考慮した上でSCVXを採用した。引き続き新しい技術の導入により、情報資産に対する新たなリスクへの対応に努めていただきたい。

情報管理室および企画政策課が事務局となり検討を行ってきた、南魚沼市DX推進計画が12月に策定された。今後は計画に沿って、デジタル技術を活用した業務改革の推進、住民サービスの向上を図り、スマート自治体への転換に尽力いただきたい。

## ○環境交通課

### 1 主な事務分掌

地球温暖化対策、有害鳥獣対策、公害対策、地下水規制・地盤沈下対策、交通安全、墓地、斎場（指定管理）、動物関係

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度（前回）課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況 該当なし
- (6) 交通事故防止活動の取組状況
- (7) 高齢者運転免許証自主返納の状況
- (8) 地盤沈下対策の状況
- (9) 有害鳥獣の捕獲状況

### 3 所感

地球温暖化対策の推進について、新たな目標に沿った環境行動計画に見直し、CO<sub>2</sub>の削減に向けた取組を進めていただきたい。また、脱炭素に向けた事業研究として関係課と連携しながら雪の利活用についても検討いただきたい。

地下水の採取に関する条例の一部改正で変更された内容を周知し、適正な申請が行われるよう努めている。併せて、不必要な散水や過剰な揚水、地盤沈下の進行状況などについても引き続き注視いただきたい。

斎場については、指定管理者と連携し、安定的な運営や市民サービスの向上となるよう尽力いただきたい。

## ○都市計画課

### 1 主な事務分掌

都市計画、交通施策、都市緑化・公園、開発関連、建築確認、都市施設整備・管理、住宅施策、克雪及び雪対策、部外設計

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度（前回）課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況
- (6) 立地適正化計画の策定状況
- (7) 市民バス運行事業の状況
- (8) 住宅リフォーム事業の状況

### 3 所感

浦佐川西地区の都市計画道路変更について、県との打合せや地元との協議を重ね、将来の交通量推計や道路ネットワークへの影響を検証した。地元への適切な説明を行い、早期に計画変更が完了するよう引き続き尽力いただきたい。

市民バスの六日町駅前への乗り入れ、時刻表改正等による基幹病院へのアクセスの向上、バス停増設など、地域の要望や実情に合わせて見直しを重ね、利用者の利便性向上を図っている。地域交通関係機関と連携しつつ、市民の交通手段の確保に努められたい。

市民からの要望が多い、みんな住マイル改修補助金等の住宅リフォーム事業では、今後も市民ニーズに合わせた制度の充実を図っていくことを望むものである。

## ○消防本部

### 1 主な事務分掌

火災・救急・山岳遭難・災害等の出動、建築確認申請同意、危険物、消防団

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度（前回）課題の取組結果と状況

- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況
- (6) 救急・救助活動の実施状況
- (7) 消防団の団員・活動の状況
- (8) 救急救命等の資格取得状況

### 3 所感

救急活動の出動件数が、今年度 10 月末現在 1,855 件で前年度より 238 件増加している。コロナ禍での救急救命活動は、感染予防対策や現場での安全管理を徹底して活動を行っているため、隊員の体力的・精神的な負担となっている。引き続き職員の健康管理や職場の環境整備に努めていただきたい。

消防団活動では、コロナ禍の影響により密集を避けた訓練に変わってきていて、実際の火災等に即応できるようにポンプの取扱い訓練に重点を置いて、放水訓練等を実施している。消防署と消防団が連携して、市民の生命や財産を守るため尽力いただきたい。

## ○社会教育課

### 1 主な事務分掌

公民館事業、青少年健全育成、人権同和、文化財、芸術文化振興、指定管理施設管理

### 2 監査の対象事項

- (1) 職員体制
- (2) 当年度の課題
- (3) 前年度（前回）課題の取組結果と状況
- (4) 予算執行状況
- (5) 準公金（協議会等の会計）の管理状況
- (6) 学びの郷事業の実施状況
- (7) 指定管理施設の状況（改修含む）
- (8) 坂戸城跡整備事業の進捗状況
- (9) 塩沢公民館大規模改修の状況

### 3 所感

公民館事業について班内で調整し事業を進めているが、現状を踏まえた効果的な事業の在り方や人員体制等を検討し、運営の合理化に努めていただきたい。

令和 5 年度の完了に向けて公有地化や関連する測量等を進め、今後の坂戸城跡整備の基準となる「保存管理計画」や「整備計画」の見直しに関係者と共に尽力いただきたい。